

基礎演習

	AB1145	担当教員	単位数	履修方法(授業形態)	配当学年
			1単位	S(演習)	1年以上
科目コード	AB1145	担当教員	寺下 明(上)/門脇 佳代子(中)/ 小野 芳秀(下)		



※本科目は2016年度より専門選択科目から共通基礎科目に科目区分が変更されました(2016年度以降の履修登録者は共通基礎科目(科目コード AB1145)となります)。

※2015年度までに履修登録済みの方へ

2016年4月に、科目コード AB1145に変更されています。一部の方は、科目コード DA2145のままです。

■スクーリングで学んでほしいこと

本科目では、人間や社会に関する様々な諸問題から自由にテーマを設定し、グループ毎に話し合い、議論された内容について資料を作成し、最後にグループ発表を行っていただきます。一方的な講義形式ではなく、学生が主体的に参加する演習形式です。受講生の自由な視点からの、活発な議論を期待します。またグループ学習を通じ、普段の学習方法についての情報交換や学習仲間を作る機会にもしてください。

■到達目標

- 1) 一つのテーマや話題について討議し、他者の意見を傾聴しながら、新たな気づきを得、またそれらを自身の中で再構築し表現することができる。
- 2) レジュメの作成を通じてレポート学習の手順を理解し、要点を押さえたレポートを書くことができる。
- 3) 学友の輪を広げることができる。

■教科書

特に指定しません。自身が関心を持つテーマの資料等があればスクーリング受講時に持参してください。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	オリエンテーション	自己紹介・グループ分け・テーマ設定
2	グループワーク①	資料を元にグループで話し合い
3	グループワーク②	資料を元にグループで話し合い
4	グループワーク③	資料を元にグループで話し合い

回数	テーマ	内容
5	グループワーク④	レジュメの作成
6	グループ発表①	グループ発表と討議
7	グループ発表②	グループ発表と討議
8	スクーリング試験	グループワークの感想をまとめる

■講義の進め方

グループワークとグループ発表、個人レポート（感想）提出を行う。

■スクーリング 評価基準

授業への参加状況（80％）＋スクーリング試験（20％）で評価。グループワークや討議への参加状況や発表内容から総合的に評価します。グループ内で積極的に協力し合い、必要に応じて助け合って課題に取り組んでください。

■スクーリング時の教科書

教科書は使用しません。自身に関心を持つテーマの資料等があればスクーリング受講時に持参してください。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

福祉・心理・教育等の分野から関心のあるテーマ（格差・障害者支援・子育て等）について、話題提供ができるよう概要を整理し、ある程度自身の見解を持ってスクーリングに臨んでください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

演習で取り組んだテーマについて、不明点や調べ足りなかった部分があれば、各自でさらに掘り下げてみましょう。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「コミュニケーション力」「レポート作成力」「情報コミュニケーション技術 (ICT) 活用力」「創造的思考力」を身につけてほしい。